

## 2023 年度保健看護学科 学修成果の把握 報告書

### I. 学修成果の把握 (学科の目標 学位授与の方針)

1. 各学年の分析対象数は、1 年生が 74 名 (83.1%)、2 年生が 43 名 (50.0%)、3 年生が 34 名 (41.0%)、4 年生が 11 名 (13.4%) であった。
2. 全学年を通して、全ての項目及び学年において平均 2.5 以上であった。
3. 全学年を通して高得点の項目は、努力する態度 (4.0)、コミュニケーション能力 (3.8)、人間理解 (3.7)、協働 (3.7) であった。低得点の項目は科学的・論理的思考 (3.3)、創造性 (3.4) であった(図 1)。
4. ほぼ全ての項目において、学年があがるにつれ平均点が上昇しており、学生は着実に学修を深めていると思われる。低得点であった科学的論理的思考については例年と同様であるものの、コロナ後で全学年臨地実習が再開され、対象者理解のための実践場面が回復しつつあることから、今後の改善が期待される。また、努力する態度やコミュニケーション能力は高得点となっており、授業や実習においても意欲を保ち、懸命に学修に取り組んでいたと思われる。授業や臨地実習において他者とのコミュニケーションや協働の重要性も学ぶことができおり、今後も教員は社会状況に応じて工夫した授業や実習を行い、学生がより積極的に学べるような環境整備に取り組む必要がある。

